

# 市田川排水機場の効果（平成28年8月29日 台風10号に起因する前線）

■市田川排水機場では、平成28年8月29日20時～30日0時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**最大5.1m<sup>3</sup>/s、総排水量62,730m<sup>3</sup>の内水を排除**しました。

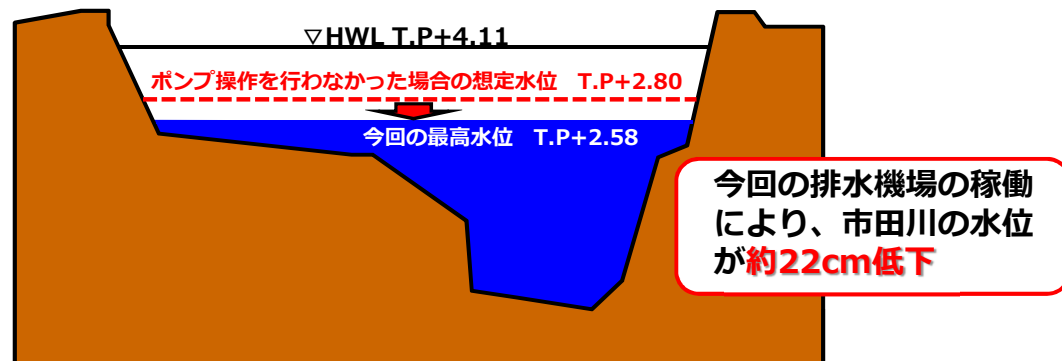
## ■市田川排水機場の位置・全景



## ■市田川排水機場の役割

昭和57年8月洪水により新宮市内に甚大な浸水被害が発生し、激甚災害特別緊急事業の採択を受け再度災害防止を目的として、ポンプ10.0m<sup>3</sup>/sを設置しました。さらに、平成9年7月洪水において浸水被害が発生したため、平成12年にポンプ7.1m<sup>3</sup>/sを増設しました。市田川排水機場は、新宮市内の内水被害を軽減する役割を担っています。

## ■市田川の水位低減効果



## ■市田川排水機場運転状況

